

ろう俳優の寸劇で学ぶ

聴覚障害者のための メンタルヘルス

手話によるオムニバス「青空が見える～闇の向こうを信じて～」

聞こえない人もちょっとしたことからかかる心の病…

闇の中をさすらう二人、男はアルコール依存症、女はパーソナリティ障害。

これは、二人がまわりの助けを借りて自己を回復する物語です。

● 役者プロフィール ●



庄崎 隆志 (しょうざき・たかし)

1961年生まれ。19歳のとき(1980年)、劇団「デフ・パペット・シアター・ひとみ」に入団。2005年に独立して「office 風の器」を主宰。コトバや性別、年齢、国境を越えて楽しめることをモットーにして、無言劇、日本舞踊等、様々な手法を用い、視覚的コミュニケーションを追求した舞台やコンテンポラリーダンスを創り、劇作家、演出、個性派も手掛けます。2009年には全日本ろうあ連盟制作の映画『ゆずり葉』で主演の木村敬一を演じる。現在、コンテンポラリー『波無烈斗～ハムレット～』公演など活動中。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。



河合 祐三子 (かわい・ゆみこ)

北海道出身。地元の劇団「舞夢(マイム)」での演劇活動を経て上京、シリアスなものからユーモラスな作品まで、個性豊かなキャラクターを活かし、幅広いジャンルの舞台に挑戦し続けている。1995年、演劇の勉強のためアメリカ・デフ・シアター主催のサマースクールに参加。2000年、NHK番組(Eテレ)「手話ニュース」のキャスターに抜擢され、現在「子ども手話ウィークリー」「手話ニュース845」に出演中。

日時：2018(平成30)年3月4日(日)

午前10時～午後4時(午前9時半より受付)

会場：サンシップとやま 福祉ホール(富山市安住町5-21)

主催／一般社団法人日本聴覚障害者ソーシャルワーカー協会

共催／社会福祉法人富山県聴覚障害者協会

プログラム

10:00~16:00

第1部

- 9:30~ 受付
- 10:00~ 開会のあいさつ
- 10:05~ ライブラリーからの上映「ろうに生きる 難聴に生きる」他
- 11:30~ 「富山県手話言語条例（仮称）」案の内容と取り組みの報告
- 12:00~ 休憩

第2部

- 12:30~ 受付
- 13:00~ 開会のあいさつ・企画趣旨説明
- 13:30~ レクチャー（ちょっと学んでみよう）
「きこえない人のメンタルヘルス」
講師：日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会
- 14:00~ オムニバス「青空が見える～闇の向こうを信じて～」
出演者：庄崎 隆志・河合祐三子
脚本家：青木 淑子
- 15:20~ フリートーク
- 15:50~ まとめ、閉会のあいさつ
- 16:00~ 終了 ※事情によりプログラムの内容が変更することもあります。

手話通訳・
要約筆記が
つきます！

相談コーナー
を開きます！

ソーシャルワーカー等による相談コーナーを開催します。
相談したい方は下記の時間帯にお越しください。

① 10:30~12:00 ② 15:00~16:00

（定員各4人まで。先着順で締め切ります）

■参加費

無 料

※昼食は各自にてご用意ください。なお、ホールにて飲食はできません。

※大変申し訳ありませんが、午後のプログラムは、主催の日本聴覚障害者ソーシャルワーカー協会より、小学生以下のお子さんをご遠慮くださるようお願いいたしますとのことです。

■相談は事前申し込みが必要です。

相談の申込は、名前、住所、希望時間帯①か②をご記入の上、下記の連絡先へFAX・メールにてお申し込みください。締切：2月23日（金）

定員に余裕がある場合は、当日申込みもできます。

■連絡先

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 〒930-0806 富山市木場町 2-21

FAX:076-441-7305 / e-mail:info@tomichokyo.or.jp